平成２２年３月２７日

古文化同好会やまと高山を巡る

３月度　歴史健康ウーク

かいがけ道、傍示、大仏道、郡南街道、西方寺、高山城跡
くろんど池、尺治川、京阪私市駅

中会長の挨拶、今日の講師綱分さんからコース説明
の後総勢１１名いきいきランド出発

いわなし古墳確認

かいがけ道を登り切った所のくぼみ石

かいがけ道終点でオタマジャクシの大群発見

大仏道を高山方面へ

郡南街道に合流

「西方寺（さいほうじ）」

融通念仏宗の寺で傍示の蓮華寺の支院で、室町時代に交野の傍示から当地へ栴檀院（せんだんいん）と西方院が移転合併されたと伝えられる。本尊は阿弥陀如来立像、天文２４年（１５５５）銘の石造地蔵菩薩立造などがある。　（現地の由緒書より）

途中平田さんが合流され早速西方寺に、傍示の蓮花寺の阿弥陀さんが一時安置されてたことなど、興味深い話をしてくれました。

かなり登った所に高山城跡があり何故か九頭神を祀った祠がありました。隣には鷹山家末裔と称する人の高山城跡地寄贈の石碑とか十三重塔が並んでいてこの前で記念写真を撮る

「高山城跡」

高山は南都、河内、山城の「三国境」として古代からさまざまな文化の交流が盛んに行われていた。中世には興福寺の荘園となり「鷹山庄」と称され、この地を治めていたのが「鷹山氏」であり、氏の居城が高山城である。この城は尾根の頂上に主郭があり、その東側から南西側に郭を配置して守りを固めています。高山は鷹山家が考案したと伝えられる茶筌の里として知られております。

（現地の説明板より）

この後、くろんど池畔で昼食のあと尺治川沿いに下り京阪私市駅で解散となりました。お天気にも恵まれ、また近隣でありながら高山のことを余り知らなかったが、講師の綱分さんに案内してもらい色々なことが分かり感謝の言葉がたくさん聞かれました。
綱分さん本当に有難うございました。